

健康・医療情報を活用した行動変容促進事業

平成30年度予算額 7.0億円（6.0億円）

事業の内容

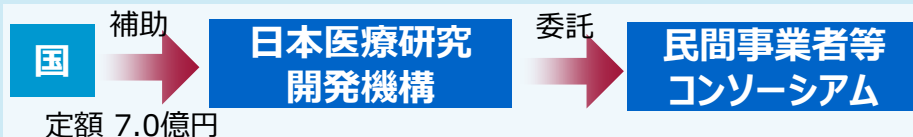
事業目的・概要

- 生活習慣病等の予防や重症化予防には、個人の生活習慣や行動を効果的に変容させることが重要です。このため、糖尿病等の生活習慣病軽症者等を対象に、ウェアラブル端末等から取得される日々の健康情報等に基づいて個人への介入を実施することで、行動変容を促進し、生活習慣病等の予防・改善を図る実証研究を実施しています。
- 本事業では、科学的根拠の構築を目指し、同領域での研究事業を継続するとともに、同様のサービスを糖尿病以外の生活習慣病や他の疾患領域でも応用すべく、実証研究を実施します。
- 同時に、本実証事業等を通じて得られる健康情報等を蓄積・分析することで、行動変容につながる健康情報等の基礎的な解析手法(アルゴリズム)の開発を目指します。

成果目標

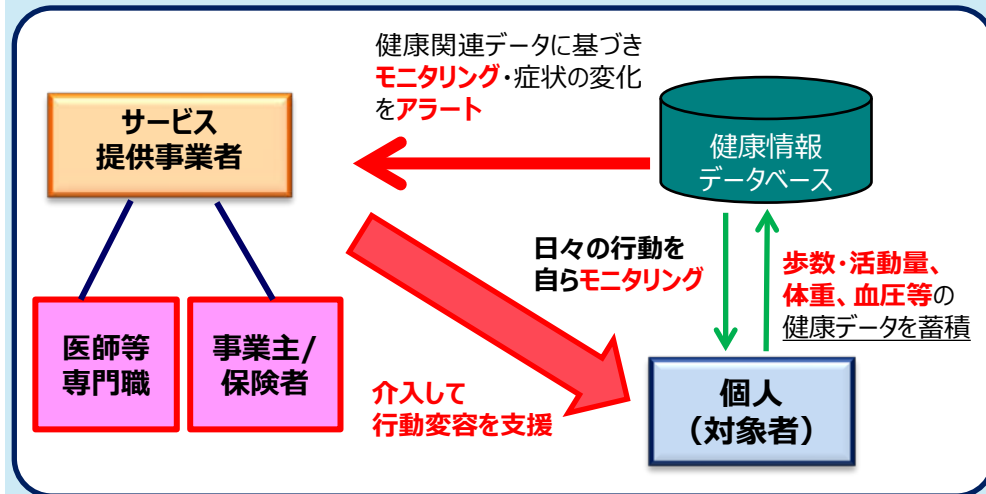
- 平成29年度から平成31年度までの3年間、糖尿病等生活習慣領域で実証研究を実施。糖尿病等の予防・改善につながるサービスの高度化やその効果についてのエビデンスの構築を進め、保険者等へのサービスの導入・普及を目指す。
- 他の疾病領域においても、効果的なサービスの創出を目指す。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1) 生活習慣病等の行動変容促進を図る実証研究開発
＜企業・保険者・医療関係者・研究者等のコンソーシアム＞



(2) 健康・医療情報等の解析手法や、行動変容を促す基礎アルゴリズムの研究開発

